

令和8年5月28日

令和8年度発生予察注意報第1号（概要版）
群馬県農業技術センター（病害虫防除所）

果樹カメムシ類 注意報を公表

県内全域で果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の多発生が予測されるため、果樹への被害に十分注意してください。

1 注意報の内容

- (1) 注意が必要な病害虫：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）
- (2) 注意が必要な作物：ウメ、オウトウ、モモ、スモモ、ブドウ、ナシ、リンゴ、キウイフルーツ
- (3) 注意が必要な地域：県内全域
- (4) 予測される発生量：多い



写真1 チャバネアオカメムシ成虫
体長10～12mm

2 防除対策

- (1) 園地の巡回をこまめに行い、早期発見に努めてください。
- (2) 飛来を確認した場合は、速やかに防除を実施してください。
- (3) 多目的防災網を設置してある園では、速やかに展張してください。
- (4) 有袋栽培では、袋掛けを早めに行ってください。

3 防除上の留意点

- (1) 夜間の最低気温が高くなると飛来の可能性が高くなるので注意してください。
- (2) 多目的防災網の破損箇所や隙間は侵入口となるため修繕してください。
- (3) 夜行性であるため、薬剤防除は夕方または早朝に行うと効果的です。
- (4) 過剰な薬剤防除は天敵を減少させ、ハダニ類等の発生を助長するおそれがあります。
薬剤防除は必ず、果樹カメムシ類を確認したうえで行ってください。
- (5) 農薬を使用する際は、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。
- (6) 他作物への飛散防止および周辺住民等への十分な配慮と事前周知を徹底してください。

発表の根拠および調査のデータは2ページ目



4 発表の根拠

- (1) トラップ*¹への5月第4半旬*²の誘殺数は、6地点で平年の約2～15倍、5地点では、多発生年で被害が多かった令和6年*³の約3～7倍(図1～3)。
- (2) 令和8年1月に調査した越冬量が平年の約1.5倍(表1)。
- (3) 今後1か月の気象予報では、気温が高く、果樹カメムシ類が増加しやすい気象条件になると予報されています(5月28日気象庁発表)。

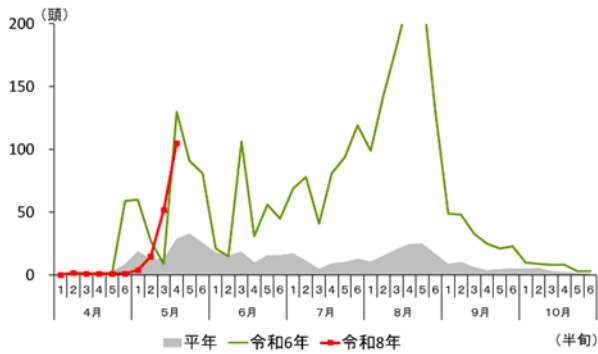


図1 トラップ調査結果(高崎市高浜町)

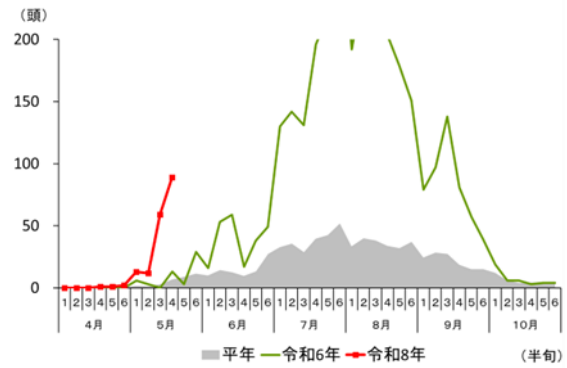


図2 トラップ調査結果(中之条町折田)

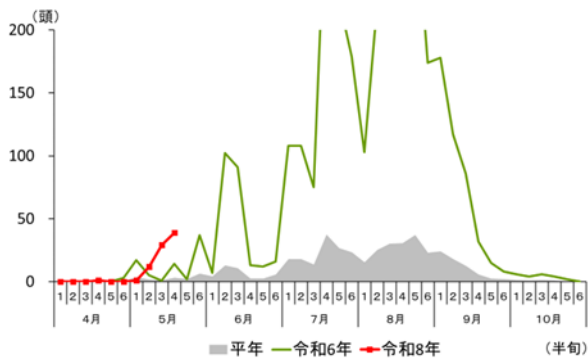


図3 トラップ調査結果(沼田市井土上町)

表1 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果(1月 県内8地点平均 頭/m²)

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	平年
1.67	0.08	2.50	0.21	1.21	0.78

- *1 トラップ : 今回の調査では、チャバネアオカメムシの集合フェロモンを利用したフェロモントラップを用いています。
- *2 半旬 : 旬(上旬、中旬、下旬)の概ね半分の期間で、第1半旬が1～5日、第6半旬が26日～月末までの期間です。
- *3 令和6年の多発生 : 令和6年は、トラップ1地点平均の年間総誘殺数が2,952頭と平年の約9倍で、記録的な多発生年となり、果樹類で大きな被害が確認されました。



トラップ調査結果は代表的な地点のみ掲載しました。
 詳しいトラップ調査結果は、二次元コードまたは下の URL からアクセスし、「令和8年各種トラップ調査結果」をクリックしてください。
 チャバネアオカメムシのデータは表示される PDF ファイルの8～9ページ目です。

URL <https://www.pref.gunma.jp/page/20720.html>

お問い合わせ先：群馬県農業技術センター土壌・病害虫部発生予察係 TEL(0270)62-1059